



キッズだより



令和5年8月 第17号
たかといちどいキッズ



♪ いちり にり さんり しり しり しり ♪

今月のわらべうたは、「いちり にり」です。寝転んだり座ったりします。「いちり」で、両足の親指をつかみます。足の指には様々なツボがあるので、親指だけでなくどの指でも触ってあげると気持ちがいいと思います。「にり」で、足首を触ります。「さんり」で、膝を撫でます。足首や膝を触ることリンパの流れがよくなります。「しりしりしり」で、腰からお尻にかけてくすぐります。皮膚の表面をくすぐるだけでなくお尻を揺らしてあげると骨盤の調整になり姿勢もよくなります。初めは、ん？と不思議そうな顔をしていましたが、「いちり～」と始めると、にこにこ喜んでいきます。なかなか目覚めない朝やお風呂上りなど、体をマッサージしながら楽しめます。



毎日暑い日が続いています。子どもたちは、プールに水遊び、感触遊びを楽しみながら暑い夏を元気に過ごしています。夏を涼しく過ごせるようにと、先月から海の世界を製作中です。りんごグループは海辺に手形のカニやフラワー紙のカメを歩かせました。みかんグループは、なぐり描きをしてクラゲを泳がせました。ばななグループは、紙皿にスズランテープを付けクラゲを作り浮かせました。いちごグループは、模造紙にスポンジや筆を使って海を作り、染め紙をウロコにした魚を泳がせました。窓ガラスには、セロファン紙で切った魚を泳がせました。水道には、海で拾ってきたシーグラスとヨットを置きました。これからも少しずつ増やしていきます。ご家庭でもお子様と一緒にシーグラスや貝殻などを使って製作をしてみたいはいかがでしょうか？

北坂 美知子



8 月 の 予 定



誕生会

4日(金)

救急訓練

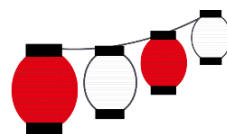
9日(水)

避難訓練

16日(水)・23日(水)

発育測定

29日(火)





あやひ・ひかりぐみ



体をよく動かすようになり、汗をかくことが増えてきました。汗を流すために沐浴やシャワーをすると、子どもたちは気持ちよさそうにしています。水の気持ち良さを知った子どもは、手洗い場でも水に触れています。「ちゃぶちゃぶしてみる?」「冷たくて気持ちいいね」と保育士が声をかけながら一緒に水遊びを楽しむこともありました。さらに水遊びを楽しめるように、小さいバケツや皿を用意し、バケツをひっくり返したり皿に水を入れたりして、水に触れる気持ち良さを味わえるようにしていきます。

園生活にも少しずつ慣れてきた子どもたち。子守唄を歌いながら抱っこをしたり、優しく体に触れたりして一人ひとりが安心して眠れるよう関わっていきます。



水が出てくるよ
不思議だな



スコップが
お気に入り



興味津々!

今月のねらい：保育士の傍で安心して一定時間眠る



ひかりぐみ



玄関先で水遊び、水の入ったタライを見て「これはなに?」と不思議そうにしています。保育士が水の中に手を入れ誘ってみると、水にそっと手を入れて嬉しそうにしています。初めてのプール遊びでは、不安そうにしていたが「見ていてね」と声をかけ、じょうろに水を入れてプールの中に水を出すと目をキラキラと輝かせ、水に触れ感触を楽しんでいました。これからも暑い日が続きます。十分に休息をとりながら水遊びを楽しめるようにします。

「手を洗おうね」と声をかけると、水を出そうとする姿が見られるようになってきました。「ごしごししようね」「きれいになったね」など、一つひとつ丁寧に声をかけながら、手を添え一緒に洗い、きれいになった喜びが感じられるようにしていきます。



ジャ〜



気持ちいいね

今月のねらい：保育士と一緒に手を洗い、綺麗になった喜びを感じる



ひかり・じゅんぐみ



自分で靴を履けるようになってきた2歳児の子どもたち。「はけた!」「(マジックテープを)ペタンしたよ」など喜んでいきます。その姿を十分に認めていると、横で見ていた1歳児の子どもも、保育士や年上の友だちに手伝ってもらいながら頑張ってみようとするようになりました。今後も、友だちと並んで一緒に履けるようにしたり、さりげなく手伝ったりしながら、自分で履こうとする姿を認めていきます。

先月から水に触れる遊びをしています。「お水触ってみる?」「気持ちいいね」などとやりとりすることで楽しく遊べるように関わっています。また、氷や泡遊びなどを取り入れ、夏の遊びも楽しめるようにしていきます。



こう?



はけるよ



今月のねらい：保育士や友だちと一緒に、様々な感触を楽しむ



にじぐみ



着替えに誘うと自分でしようとする子どもたち。難しい時は、手を添えながら着替え方を伝え、援助しています。中には保育士が手伝おうとすると、「じぶんです」と主張する子どもいます。その時は自分でしたい思いを受け止め、見守るようにしています。十分に認める声をかけると「じぶんでできた！」と得意気な可愛い表情を見せます。今後も、自分でできた喜びを感じることで、自信につながるよう援助していきます。

今月は氷遊びや寒天遊びなど、夏に楽しめる遊びを保育士と一緒に楽しめるようにしていきます。



スポンにシャツをいれられるよ



よいしょ



ボタンをつけたり服を畳んだりにも挑戦！

今月のねらい：保育士や友だちと一緒に水遊びや感触遊びを楽しむ



《絵を描くこと》

みなさんは日々様々な人と関わって過ごしている中で、何気ないことに傷ついたりモヤモヤしたりした時、どのように解消していますか？ 直接的に向き合い話す、親しい人に話を聞いてもらい気持ちを整理するなどいろいろな方法があると思います。人にも話せず、モヤモヤをため込んでしまっている方はいませんか？ 私はそんな時、絵を描くことでモヤモヤしている感情がスッキリすることに気がつきました。絵を描くことでスッキリするのはなぜか疑問に思い、理由を調べてみました。

普段人は左脳を使って考える事が多いそうですが、絵を描く時は右脳を使っているそうです。普段使わない部分を刺激することで脳のバランスが良くなり、疲れた脳をリラックスさせるため、ストレス解消につながるそうです。また、右脳は感情を司るため、絵を描いて右脳を刺激することでモヤモヤしていた気持ちを整理しやすくしているのだと分かりました。

絵を描くことは子どもたちにもとても効果的だそうです。子どもの絵は大人から見るとただぐるぐるぐちゃぐちゃに描いているように思えます。しかし言葉で上手く伝えられない子どもたちは、そのぐるぐるぐちゃぐちゃに見たこと、考えたこと、思ったことを表しているそうです。子どもたちは絵を描くことで、思いを表現することを学んでいるのだと知りました。

ある保護者の方は、自分は絵が苦手だから子どもと一緒に描くときに教えてあげられないと心配されておられました。大丈夫です！ 上手に描く必要はなく、思うままに描いて右脳を刺激することで、感情を整理したり、想像力、発想力が身についたりという効果が発揮されるそうです。大人にも子どもにも様々なメリットがある「絵を描くこと」。ぜひ子どもと一緒に気軽に楽しんでみてください。

荻田 珠輪羅

